

広げよう笑顔の輪 励まし育てよう青少年

健全育成広報紙

「ゴリラ」

「ゴリラは家族を
まもるんだよ。」ゴ：ごきげんな
リ：理想の
ラ：ライフを...

体罰は禁止です。
見せていませんが、
家庭内暴力や暴言
(宮城県警察より)

子どもを健やかに育てるために

～ ともども同を虐待というの？子どもにどんな影響があるの？ ～

子どもの虐待には、大きく分けて4つのタイプがあります

● 身体的虐待

- ☐ たたく、ける
- ☐ やけどをさせる
- ☐ おぼれさせる
- ☐ 戸外に締め出す
- ☐ 物を投げつける



など

● 性的虐待

- ☐ 子どもへの性交
- ☐ 性的行為の強要
- ☐ 性器や性交を見せる
- ☐ 子どもの裸を写真や動画で撮る



など

● 心理的虐待

- ☐ 傷つくことを言う
- ☐ 言葉によるおどし
- ☐ 無視をする
- ☐ きょうだい差別する
- ☐ 子どもの居る状況で、DVや、家族に対して暴力をふるう、暴言を吐くなどしてケンカをする



など

● ネグレクト

- ☐ 家に閉じ込める
- ☐ 食事を与えない
- ☐ ひどく不潔にする
- ☐ 自動車の中に放置する
- ☐ けがや病気をしても病院に連れて行かない
- ☐ 保護者以外の同居人による虐待を放置する



など

一人で悩まず困りごとが
あれば、お電話を!!

◆大河原町教育委員会 ☎(0224) 53-2742 ◆大河原教育事務所 ☎(0224) 53-3111
◆少年相談ダイヤル ☎(022) 222-4970 ◆大河原警察署 ☎(0224) 53-2211
◆いじめ110番 ☎(022) 221-7867

不登校を考える

不登校は、全国どこでも起きている教育課題の一つです。宮城県は全国平均を超える水準にあり、大河原町も増加傾向にあります。コロナ禍の影響もあり、どの家庭にも起こりうるものとなっています。

令和2年度の宮城県長期欠席状況調査の結果を見ると、右図のようになっています。小学校1年生から中学校2年生まで増加していくのが分かります。不登校のきっかけは、小学校では、気力がわかない、親子の関わり方、中学校では、気力がわかない、友人関係をめぐる問題の順となっています。大河原町でも同様の傾向があり、具体的な原因として挙げると次の7つがあります。

- ① 親から離れられない。 ② ゲームなどの影響により朝起きられない。 ③ 保護者が口や手を出しすぎる。
- ④ 友達に配慮できずにトラブルになる。 ⑤ 学習の遅れが目立つ。
- ⑥ 自分で決められずに自信をなくす。 ⑦ 将来に対する不安が大きくなる。

不登校を防ぐには、原因の究明と早い対応がポイントになります。学校と家庭が情報を共有し、状況を把握することです。学校には、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが配置されています。学校に相談し面談等を行ったり、教育委員会や教育センター等の支援を受けたりする方法もあります。また、大河原小学校、大河原中学校には「ほっとルームさくら」という教室が設置されています。教室に入りづらい児童生徒が学ぶ教室です。LD通級教室や特別支援学級で成長の進み具合や障害に応じた指導を受けることもできます。学校に通えない場合は、下記の施設で学習したり、自宅を訪問して学習することもできます。その他に、ICTを活用した授業やプリント学習などを自宅で行うことも可能です。民間のフリースクールを利用する方法もあります。

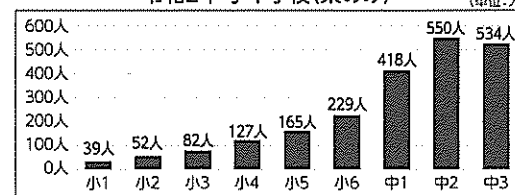
不登校に効く特效薬はありません。信頼の中で家庭と関係機関が連携することです。保護者や家族だけで悩まず、社会でサポートしていけるようにすることです。大河原町民みんなで児童生徒の明るい未来のために努力していきたいと考えています。

不登校児童生徒の学年と不登校のきっかけと
継続要因について

〈不登校児童生徒の学年〉

令和2年 小中学校(県のみ)

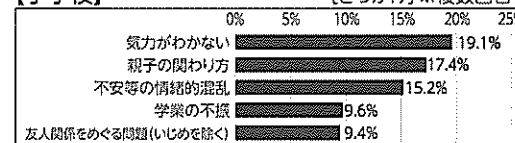
(単位:人)



長期欠席状況調査(宮城県教育委員会) 令和3年10月発表

〈不登校のきっかけと継続要因〉

【小学校】 [きっかけ] ※複数回答可



【中学校】 [きっかけ] ※複数回答可



適応教室「仙南けやき教室」[その他]

学校に行けない状態が続いている仙南(名取以南)の小中学生が対象です。
場 所: JR東白石駅近く
通 所: 火～金の9時～15時
(相談面談を経て体験通所を行い、通所します。服装は、私服、お昼を挟む場合は、お弁当になります。)

【その他】

- 不登校支援ネットワークによる訪問指導
 - 大河原教育事務所の臨床心理士のカウンセリングや教育相談員による教育相談
- 大河原教育事務所 TEL.53-3111
●民間のフリースクール等

けやき教室は仙南に
一つの施設です。

大河原町の不登校支援・個別支援の紹介

おおがわら子どもの 心のケアハウス

子どもが安心して活動できる自宅
以外の場所です。

対 象: 大河原町内の小中学校に在籍し登校に
不安を感じている人。

場 所: 大河原町オーガ1階

内 容: 社会的な自立・学習支援

通所方法: 徒歩、自転車、親の送迎

公用車での送迎あり(来所は、登校扱い)

ケアハウス TEL.51-8878

ほっとルームさくら(大小・大中)

大河原小学校、大河原中学校に設置しています。学校には行けるけど、教室に足を向けることが難しいお子さんの通う教室です。

ほっとルームさくらには、担任が置かれ、その子に適した指導計画を立てて、楽しく学習していきます。お子さんは、通常学級の在籍となり、ほっとルーム担任と学級担任が協力して学級での学習を目指していきます。希望があれば、担任、各学校にご相談ください。

LD通級教室・特別支援学級

どうしても計算が苦手だったり、漢字を覚えることが苦手だったりするお子さんがいます。また、対人関係で配慮のできないお子さんもいます。そうした苦手な面があるお子さんの学習する教室です。週に何時間か決めて学習を行います。また、障害のあるお子さんには、知的、情緒などの支援学級が設置されています。希望があれば、担任、各学校にご相談ください。

不登校の子をもつ親の交流会 ほっとタイム

不登校の児童生徒をもつ親の交流会を今年度開設しました。

日々、お子さんの対応に苦労されている親(保護者)の情報交換を行い、「ほっとする」一時をつくりたいと思います。スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを中心に進めています。下記の日程をご覧になり申し込みください。
日 時: 8/3(火)、10/6(木)、12/1(木)、2/2(木)
15:00～

場 所: 大河原町オーガ2F 多目的ホール
申し込み: 大河原町教育委員会

TEL.53-2742